

令和4年

旭川市交通事故統計

交通安全は 家庭から



旭川市交通安全運動推進委員会

はじめに

市民の皆様や地域の交通安全指導員をはじめ、交通事故防止に関わる関係機関・団体の皆様には、平素から交通事故防止活動に深い御理解と御協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、令和4年中の旭川市における交通事故発生状況ですが

発生件数	4 1 6 件（前年比 - 7 6 件）
死者数	8 人（前年比 + 6 人）
傷者数	4 9 1 人（前年比 - 9 3 人）

となり、旭川市が保存している過去の交通事故記録を見ますと、発生件数は昭和38年、傷者数は昭和40年以降最少を記録することができました。

これは、自動車安全技術の向上、冬道環境の改善等が考えられますが、それにも増して地域の交通事故発生実態を熟知し交通事故防止活動に携わる地元の関係機関・団体・市民の皆様方の努力の結果であり、心より感謝申し上げます。

しかしながら、旭川市の過去5年間の事故実態をみますと、死者33人のうち高齢者が実に25人（旭川市在住23人）と75.8%を占め、全道値55.2%を大きく上回り、まさに高齢者が多数犠牲になる交通事故が頻繁に発生し、さらに旭川市の人口動態を見ると、65歳以上の人口が年々増加することから、今後も同種事故の多発が懸念されるところであります。

さらに、旭川市の交通事故発生実態を精査しますと、高齢者被害の交通死亡・重傷事故発生率の上昇、発生場所の66%が交差点及びその付近において発生するなど、基本的交通ルールの軽視と思いやりのある交通マナーの欠如が原因と思われる事故が発生していることから、今後も交通安全意識の高揚を図ることが重要と考えます。

当交通安全運動推進委員会としては、市民の皆様をはじめ、関係機関・団体とより一層連携を強化し、高齢者の特性を踏まえた交通安全教室の開催、4期40日間の交通安全市民総ぐるみ運動期間を主に、事故多発路線、危険交差点等における地域の交通安全指導員と連携した交通監視、パトライト作戦、関係機関との合同による飲酒運転根絶のため交通指導員を中心とした見回り隊、官民合同による飲食店の訪問、街頭啓発活動に努め、「人優先」の交通安全思想に基づいた効果的な交通安全意識の醸成に努めて参りたいと考えております。

本資料は、上川総合振興局からの交通事故統計分析資料、警察庁ホームページ、道警旭川方面本部、旭川中央警察署、旭川東警察署の交通事故に関する情報の提供を基に令和4年中に旭川市内で発生した交通事故の状況を分析したものです。皆様の交通事故防止啓発活動に際し、参考にしていただければ幸いと存じます。

令和5年3月

旭川市交通安全運動推進委員会
会 長 今 津 寛 介

目次

I	交通事故の概要	3
1	旭川市・全道・全国の交通事故発生状況	3
	(1) 旭川市 (2) 全道 (3) 全国	
2	旭川市における交通事故発生状況	4
	(1) 月別 (2) 曜日別 (3) 時間帯別 (4) 路線別	
II	交通事故の分析	6
1	類型別交通事故発生状況	6
2	道路形状別交通事故発生状況	7
3	信号機有無別交通事故発生状況	7
4	シートベルト・ヘルメット着用状況	8
5	年齢層別・状態別死傷者数	8
	(1) 全年齢層 (2) 子どもの状況 (3) 高齢者の状況 (4) 若年者の状況	
6	第1当事者の交通事故発生状況	11
	(1) 車種別 (2) 事故原因別 (3) 年齢層別 (4) 通行目的別 (5) 事故車種の免許経過年数別	
7	歩行者被害の交通事故発生状況	14
	(1) 年代別被害状況 (2) 違反別被害状況	
8	自転車乗用中被害の交通事故発生状況	15
	(1) 年代別被害状況 (2) 違反別被害状況	
9	旭川市の交通死亡事故発生状況	17
	(1) 月別 (2) 年代別 (3) 路線別 (4) 類型別 (5) 道路形状別 (6) 曜日別 (7) 時間帯別 (8) 違反別 (9) 市民委員会別 (10) 令和4年交通死亡事故発生状況(8件8人)	19
III	過去10年間の状況	21
1	月別交通事故発生状況	21
	(1) 発生件数 (2) 死者数 (3) 負傷者数	
2	旭川市・全道・全国の交通事故発生状況	23
3	都道府県別交通事故死者数のワースト順位	23
IV	過去50年の交通事故発生件数・死傷者数一覧	24
V	市民委員会別死亡事故ゼロ達成日数	25

※ 本冊子に記載の標語は令和4年に全国で使用された交通安全スローガンとして選ばれた作品です

注) 数字は表示単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や
四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合があります。

I 交通事故の概要

1 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況

(1) 旭川市 (確定数) ※数値は上川総合振興局交通事故統計分析資料による

区分	年別	R4年	R3年	増減	増減率 (%)
発生件数		416	492	-76	-15.4%
死者数		8	2	6	300.0%
重傷者数		58	51	7	13.7%
軽傷者数		433	533	-100	-18.8%

- ・発生件数は旭川市に記録が残る昭和38年, 重軽傷者は昭和40年以降最少
- ・死者数 1日あたり 0.02人
- ・重軽傷者数 1日あたり 1.35人 17時間46分に1人受伤
- ・1件あたり死傷者数 1.20人
- ・死者8人中6人が高齢者 (平均79.8歳, 男性3人女性3人)

※警察署別内訳

区分	署別	旭川中央警察署		旭川東警察署		高速道路	
		R4年	R3年	R4年	R3年	R4年	R3年
発生件数		148	172	267	319	1	1
死者数		4	1	4	1	0	0
重傷者数		23	21	35	30	0	0
軽傷者数		156	194	275	337	2	2

※数値は道警旭川方面本部, 旭川中央署, 旭川東署の情報提供による

(2) 全道 (確定数) ※数値は道警本部交通企画課の情報提供による

区分	年別	R4年	R3年	増減	増減率 (%)
発生件数		8,457	8,304	153	1.8%
死者数		115	120	-5	-4.2%
重傷者数		914	952	-38	-4.0%
軽傷者数		8,871	8,646	225	2.6%

- ・発生件数 1日あたり 23.17件 1時間2分に1件発生
- ・死者115人 統計が残る昭和22年(76年前)からの記録で最少
- ・死者数 1日あたり 0.32人
- ・重軽傷者数 1日あたり 26.81人 1時間あたり 1.12人
- ・1件あたり死傷者数 1.17人

(3) 全国 (確定数) ※数値は警察庁交通事故統計情報による

区分	年別	R4年	R3年	増減	増減率 (%)
発生件数		301,193	305,196	-4003	-1.3%
死者数		2,610	2,636	-26	-1.0%
重傷者数		26,027	27,204	-1177	-4.3%
軽傷者数		330,392	334,927	-4535	-1.4%

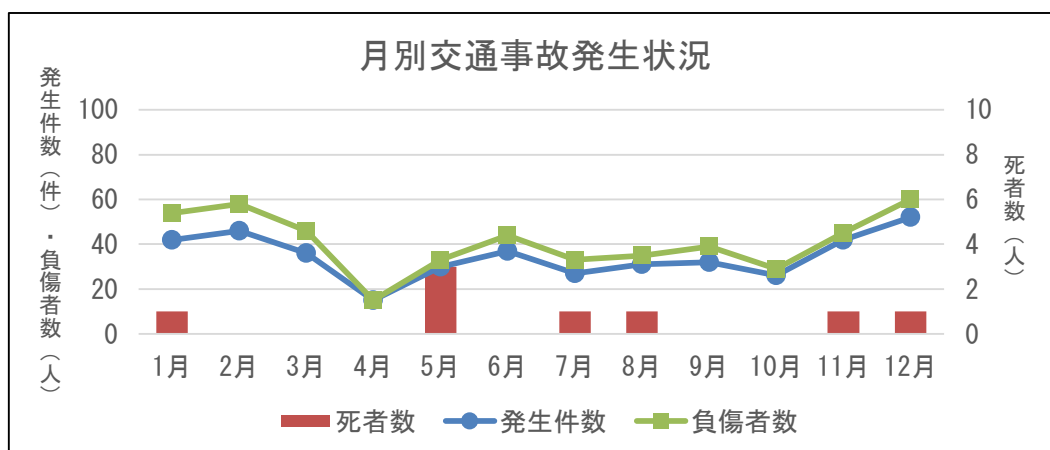
- ・発生件数 1日あたり 825.18件 1時間あたり 34.38件
- ・死者数2,610人は警察庁が保有する昭和23年(75年前)からの統計で最少
- ・死者数 1日あたり 7.15人 1時間あたり 0.30人
- ・負傷者数 1日あたり 976.4人 1時間あたり 40.68人
- ・1件あたり死傷者数 1.19人

2 旭川市における交通事故発生状況

※以後の数値は上川総合振興局交通事故統計分析資料による

(1) 月別交通事故発生状況

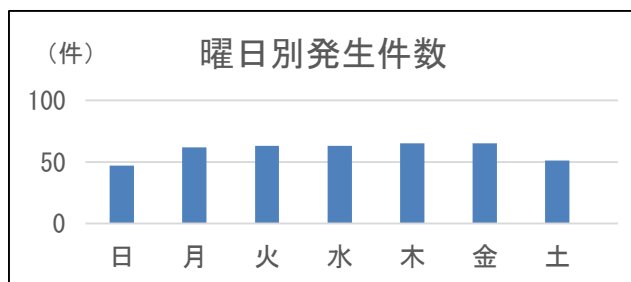
	旭川中央署			旭川東署			高速道路			合計		
	発生	死者	負傷者	発生	死者	負傷者	発生	死者	負傷者	発生	死者	負傷者
1月	23	1	30	19		24				42	1	54
2月	21		30	25		28				46		58
3月	9		11	27		35				36		46
4月	5		5	10		10				15		15
5月	12	1	12	18	2	21				30	3	33
6月	12		15	25		29				37		44
7月	9		10	18	1	23				27	1	33
8月	10	1	12	21		23				31	1	35
9月	8		10	24		29				32		39
10月	5		5	21		24				26		29
11月	17	1	19	25		26				42	1	45
12月	17		20	34	1	38	1		2	52	1	60
計	148	4	179	267	4	310	1		2	416	8	491



※日没が5時前後になる10月から増加し積雪期に更に増加し雪溶けとともに減少している。

(2) 曜日別交通事故発生状況

	日	月	火	水	木	金	土	計
発生件数	47	62	63	63	65	65	51	416
死者数	2	2		1	1	1	1	8
負傷者数	75	68	69	72	77	73	57	491

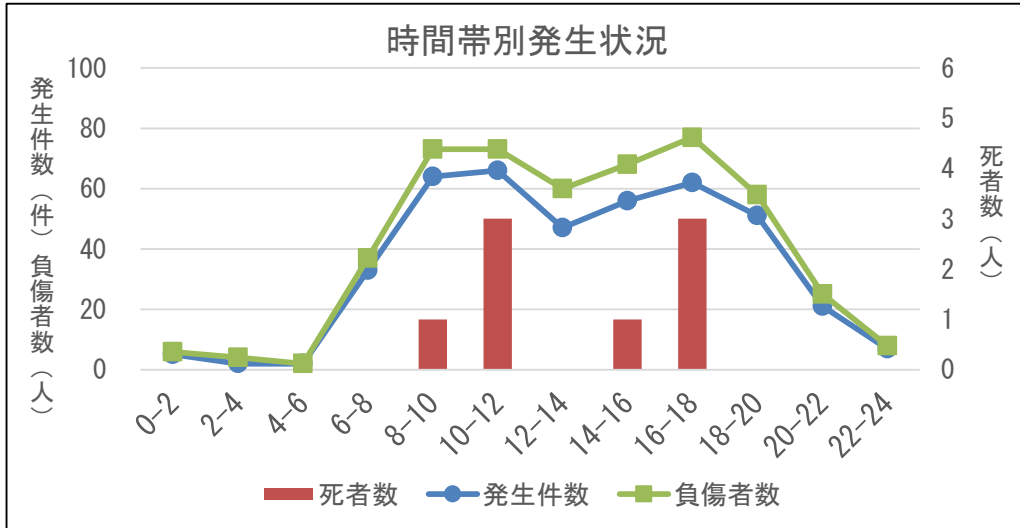


手を上げる
子どもはあなたを
信じてる
 内閣総理大臣賞(最優秀作)

(3) 時間帯別交通事故発生状況

時間帯	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
発生件数	5	2	2	33	64	66	47	56	62	51	21	7	416
死者数					1	3		1	3				8
負傷者数	6	4	2	37	73	73	60	68	77	58	25	8	491

* 社会活動の始まる6時頃から増え、夕暮れとともに少なくなります、深夜時間は一桁に減少します。

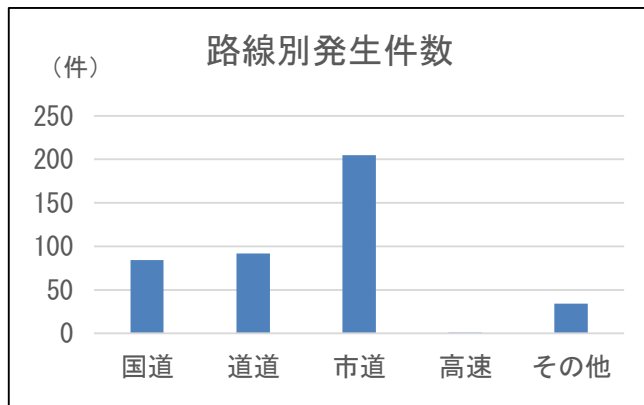


(4) 路線別交通事故発生状況

路線別	国道	道道	市道	高速	指定自専道	他自専道	その他道路	合計
発生件数	84	92	205	1			34	416
死者数	2	3	1				2	8
負傷者数	105	107	239	2			38	491

* 発生件数、負傷者数ともに市道での発生が約半数を占めている。

**スマホじゃない
見るのは前でしょ
周りでしょ**
内閣総理大臣賞(最優秀作)

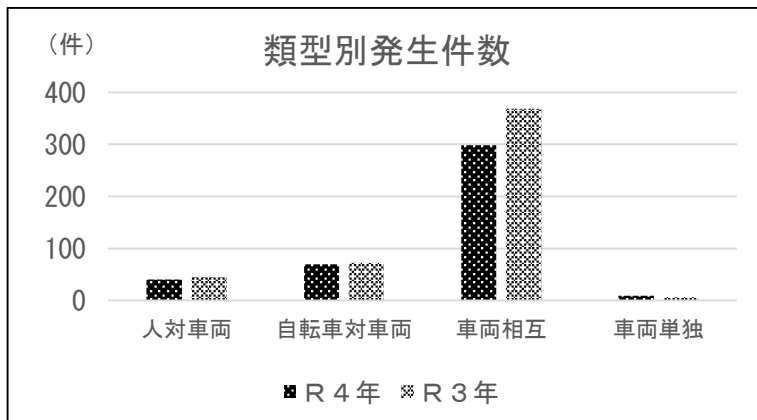


II 交通事故の分析

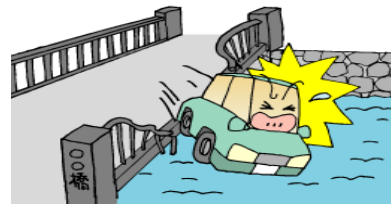
1 類型別交通事故発生状況

類型別	年別	R 4 年			R 3 年			
		発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	
人対車両	対面通行中	1		1				
	背面通行中	5		5	3		3	
	横断中	横断歩道	11	1	10	16		17
		横断歩道付近	2		2	1		1
		歩道橋付近	1		1			
		その他	9	1	8	5		5
		計	23	2	21	22	0	23
	路上遊戯中							
	路上作業中							
	路上停止中	1		1	2		2	
	その他	10	1	9	18	1	18	
小計	40	3	37	45	1	46		
自転車対車両		69		70	72		73	
車両相互	正面衝突	17	2	23	10		13	
	追突	進行中	7		8	10		11
		その他	83		107	123		164
	出会い頭	107		129	135		158	
	追い越し追い抜き時	4		5	5		7	
	すれ違い時				3		3	
	左折時	4		4	5		8	
	右折	右折直進	34		43	26		30
		その他	5		5	4		5
	その他	37		48	48		60	
	小計	298	2	372	369	0	459	
車両単独	工作物衝突	電柱	1	1	4	1		1
		標識						
		防護柵等						
		その他	2	2		2		3
	駐車車両衝突	1		1	2		2	
	路外逸脱							
その他	5		7	1	1			
小計	9	3	12	6	1	6		
踏切								
合計		416	8	491	492	2	584	

※ 車両相互のうち追突・出会い頭事故の件数が前年比-71件と大幅に減少しました。



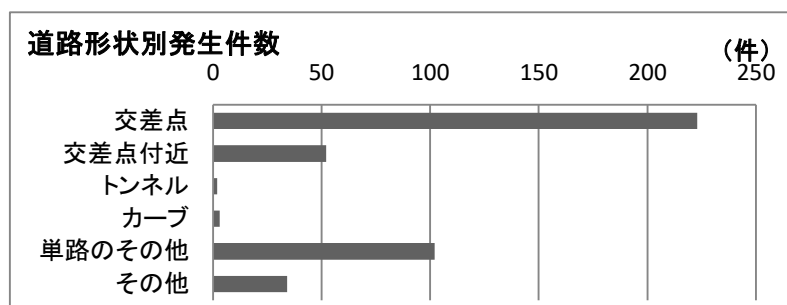
発生件数の増減率	
人対車両	-12.2%
自転車対車両	-4.2%
車両相互	-20.2%
車両単独	50.0%



2 道路形状別交通事故発生状況

区分 形状別	発生件数				死者数				負傷者数				
	R4年		R3年		R4年		R3年		R4年		R3年		
	発生件数	構成比%	発生件数	構成比%	発生件数	構成比%	発生件数	構成比%	発生件数	構成比%	発生件数	構成比%	
市街地	交差点	209	217	50.2	44.1	1		12.5		238	244	48.5	41.8
	交差点付近	48	72	11.5	14.6	2		25.0		61	86	12.4	14.7
	計	257	289	61.7	58.7	3	0	37.5	0.0	299	330	60.9	56.5
	トンネル												
	カーブ	2	3	0.5	0.6					4	6	0.8	1.0
	その他	90	140	21.6	28.5	1	2	12.5	100.0	111	173	22.6	29.6
	その他	31	35	7.5	7.2	2		25.0		35	41	7.1	7.0
小計	380	467	91.3	95.0	6	2	75.0	100.0	449	550	91.4	94.1	
非市街地	交差点	14	10	3.4	2.0					16	11	3.3	1.9
	交差点付近	4	3	1.0	0.6					5	4	0.9	0.7
	計	18	13	4.4	2.6	0	0	0.0	0.0	21	15	4.2	2.6
	トンネル	2	2	0.5	0.4					3	3	0.7	0.5
	カーブ	1		0.2		1		12.5		2		0.4	
	その他	12	10	2.9	2.0	1		12.5		13	16	2.6	2.8
	その他	3		0.7	0.0					3		0.7	
小計	36	25	8.7	5.0	2	0	25.0	0.0	42	34	8.6	5.9	
合計	416	492	100.0	100.0	8	2	100.0	100.0	491	584	100.0	100.0	

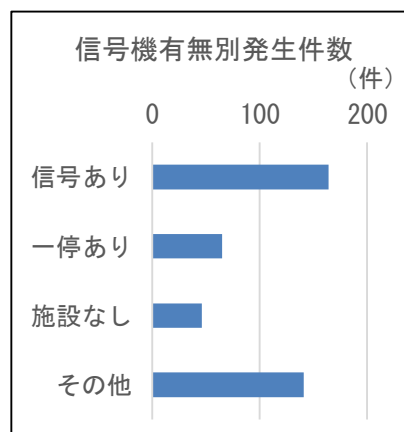
* 市街地・非市街地ともに交差点及びその付近での発生数が多く、全体の66.1%を占めている。



3 信号機有無別交通事故発生状況

有無別	区分	発生件数		死者数		負傷者数	
		R4年	R3年	R4年	R3年	R4年	R3年
市街地	交差点	121	103	1		138	115
	一停あり	56	78			63	90
	施設なし	32	36			37	39
	交差点付近	39	49	1		52	60
	一停あり		3				4
	施設なし	9	20	1		9	22
	その他	123	178	3	2	150	220
小計	380	467	6	2	449	550	
非市街地	交差点	3	3			3	3
	一停あり	9	7			11	8
	施設なし	2				2	
	交差点付近	1	3			2	4
	一停あり						
	施設なし	3				3	
	その他	18	12	2		21	19
小計	36	25	2	0	42	34	
合計	416	492	8	2	491	584	

手を上げて
運転手さんに
ごあいさつ
警察庁長官賞(優秀作)



4 シートベルト・ヘルメット着用状況

(人)

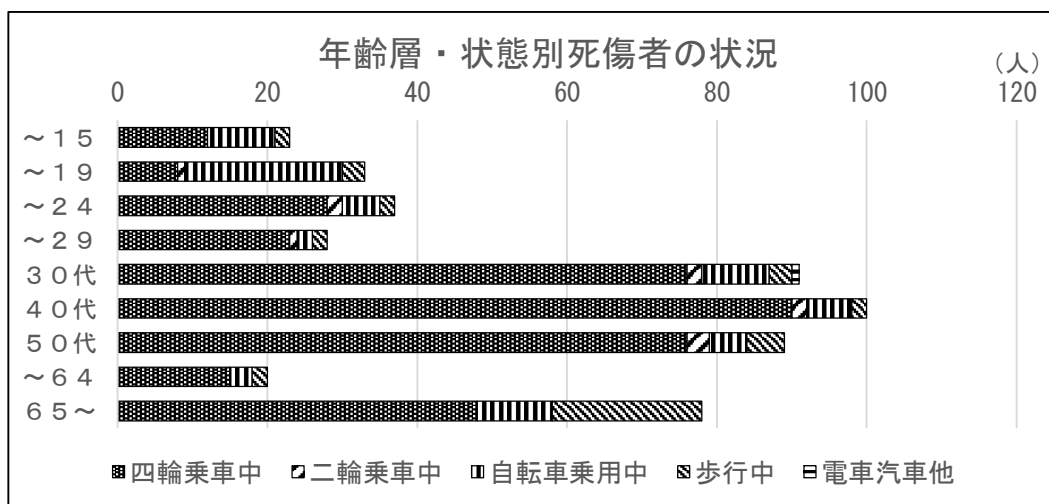
着用別	区分	死者数		重傷者数		軽傷者数		
		R4年	R3年	R4年	R3年	R4年	R3年	
シートベルト	着用	2点3点式	3		26	23	318	406
		チャイルドシート					3	4
		6歳未満					3	3
	非着用	適用除外者					1	
		その他	2	1	3		21	19
		着用不明						
	合計	5	1	29	23	343	429	
ヘルメット	着用	離脱					1	3
		離脱なし			5	3	6	10
		離脱不明						
	非着用	非着用			11	9	58	59
		着用不明						
		合計	0	0	16	12	65	72

5 年齢層・状態別死傷者数

(1) 全年齢層の状況

(人)

状態 年齢層	令和4年						令和3年					
	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車 自動車 他	計	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車 自動車 他	計
～15	12		9	2		23	14		18	2		34
16～19	8	1	21	3		33	7	1	21		1	30
20～24	28	2	5	2		37	36	4	3	6		49
25～29	23	1	2	2		28	36	1	2	3		42
30代	76	2	9	3	1	91	104	3	5	2		114
40代	90	2	6	2		100	127	1	3	10		141
50代	76	3	5	5		89	61		6	5		72
60～64	15		3	2		20	18		1	3		22
65～	48		10	20		78	50		15	17		82
合計	376	11	70	41	1	499	453	10	74	48	1	586

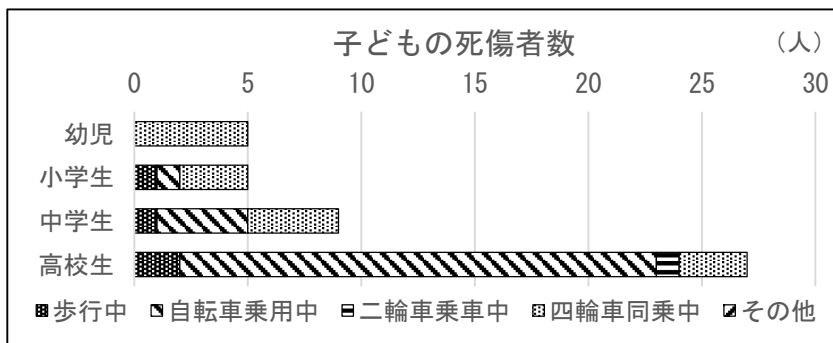


(2) 子どもの状況

(人)

状態別	年齢別	未就学幼稚園児		小学生		中学生		高校生		計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
令和4年	歩行中				1		1		2		4
	自転車 乗用中				1		4		21		26
	二輪車 乗車中								1		1
	四輪車 同乗中		5		3		4		3		15
	その他										
	計		5		5		9		27		46
令和3年	歩行中				2						2
	自転車 乗用中		2		10		3		19		34
	二輪車 乗車中								1		1
	四輪車 同乗中		5		4		5		2		16
	その他										
	計		7		16		8		22		53

・死者はいません。傷者の65.2%が自転車乗用中・歩行中の受傷です。



昨年の子どもの死傷者数は最多年(S45)と比較し89%減少し、死者は過去12年間で高校生1人と死者傷者とも減少傾向が続いています。



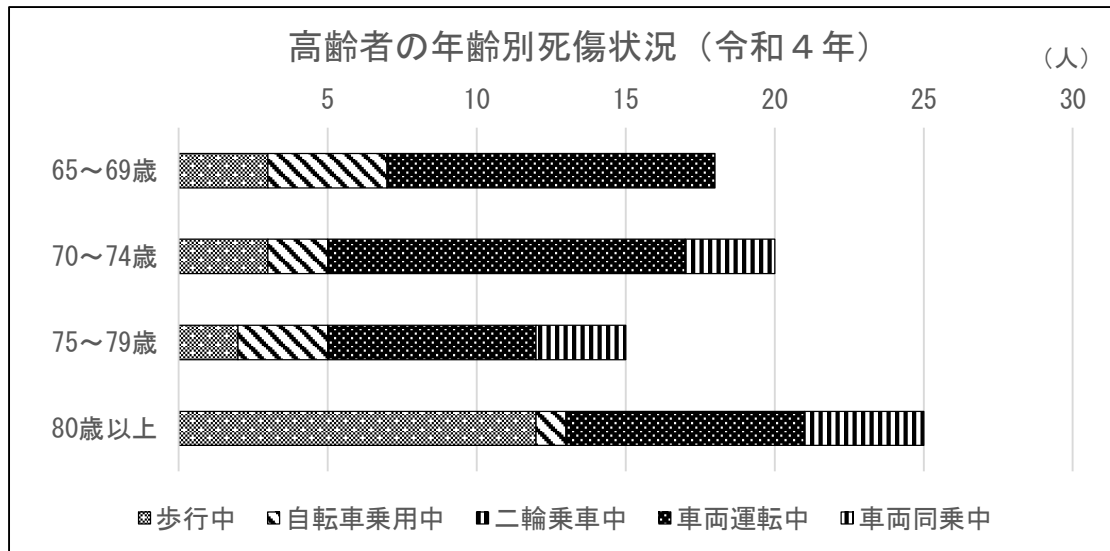
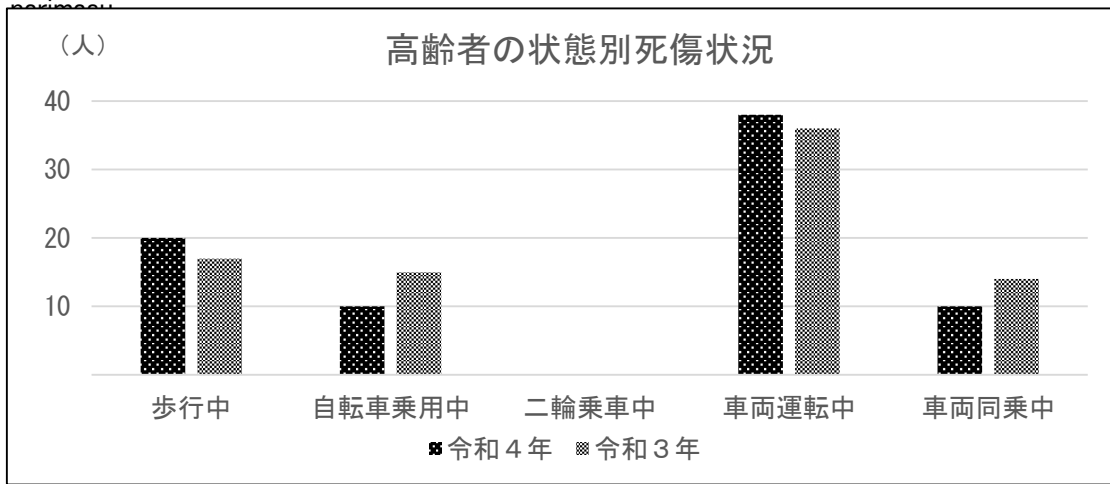
(3) 高齢者の状況

(人)

状態別	年齢層別	65~69歳		70~74歳		75~79歳		80歳以上		計		死傷者構成率
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	
令和4年	歩行中		3		3	1	1	2	10	3	17	25.6%
	自転車 乗用中		4		2		3		1		10	12.8%
	二輪車 乗車中											
	二輪車 同乗中											
	四輪車 運転中	1	10	1	11		7	1	7	3	35	48.7%
	四輪車 同乗中				3		3		4		10	12.8%
	その他											
	計	1	17	1	19	1	14	3	22	6	72	99.9%
令和3年	歩行中		8		3			1	5	1	16	20.7%
	自転車 乗用中		5		5		3		2		15	18.3%
	二輪車 乗車中											
	二輪車 同乗中											
	四輪車 運転中		14		15		4	1	2	1	35	43.9%
	四輪車 同乗中		3		6		2		3		14	17.1%
	その他											
	計		30		29		9	2	12	2	80	100.0%

* 歩行中と四輪車運転中の死者が前年の3倍に増加しています。

・令和4年 死傷者構成率は単位以下を四捨五入しているため100%とはならず99.9%となります。



(4) 若年者の状況 (16～24歳)

状態別	年別	令和4年		令和3年	
		死者数	負傷者数	死者数	負傷者数
乗用車運転中			22		30
乗用車同乗中			11		11
貨物車運転中			2		1
貨物車同乗中			1		1
自動二輪車運転中			3		4
自動二輪車同乗中					
原付車運転中					
原付車同乗中					1
自転車乗用中			26		24
歩行中			5		6
その他					1
計		0	70	0	79



6 第1当事者の交通事故発生状況

(1) 車種別

車種別	令和4年		令和3年	
	発生件数	構成率	発生件数	構成率
自家用自動車	381	91.6%	436	88.6%
運送事業用自動車	24	5.8%	35	7.1%
二輪車	1	0.2%	2	0.4%
自転車・歩行者	5	1.2%	7	1.4%
特殊車	3	0.7%	4	0.8%
その他(不明)	2	0.5%	8	1.6%
計	416	100.0%	492	100.0%

* 自家用自動車による事故が全体の約9割以上を占めています。

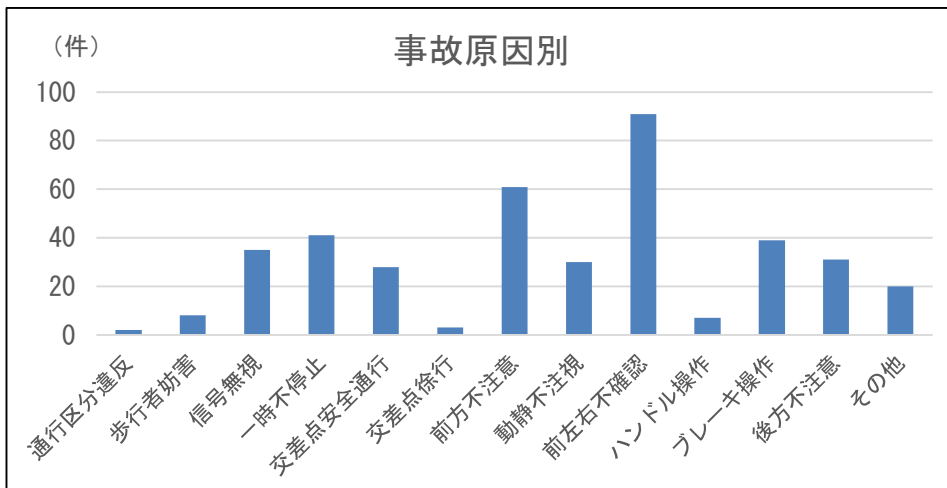
乗るのなら
しっかりお酒と
フェイスダンス



(2) 事故原因別(法令違反)

原因別	発生件数		構成比(%)		死者数		構成比(%)		負傷者数		構成比(%)		
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	
酒酔い運転	1	1	0.2	0.2					1	1	0.2	0.2	
追越し運転	1		0.2						2		0.4		
通行区分違反	2	3	0.5	0.6	1		12.5		1	3	0.2	0.5	
歩行者妨害	8	12	1.9	2.4		1		50.0	8	11	1.6	1.9	
最高速度違反	2		0.5		1		12.5		5		1.0		
過労運転													
信号無視	35	46	8.4	9.3	1		12.5		45	52	9.2	8.9	
一時不停止	41	47	9.9	9.6					47	56	9.6	9.6	
車間距離													
踏切													
交差点安全通行	28	42	6.7	8.5					30	45	6.1	7.7	
交差点徐行	3		0.7						5		1.0		
右折	1	1	0.2	0.2					1	2	0.2	0.3	
左折													
整備不良													
安全運転義務違反	前方不注意	61	68	14.7	13.8	3		37.5		74	100	15.1	17.1
	動静不注意	30	34	7.2	6.9					34	40	6.9	6.8
	前左右不確認	91	96	21.9	19.5					97	106	19.8	18.2
	ハンドル操作	7	14	1.7	2.8	1		12.5		9	18	1.8	3.1
	ブレーキ操作	39	40	9.4	8.1					52	49	10.6	8.4
	安全速度	4	4	1.0	0.8					4	4	0.8	0.7
	後方不確認	31	49	7.5	10.0	1		12.5		36	55	7.3	9.4
その他	8	12	1.9	2.4					9	15	1.8	2.6	
小計	271	317	65.3	64.3	5	0	62.5	0.0	315	387	64.1	66.3	
その他違反	20	14	4.8	2.8		1		50.0	28	17	5.7	2.9	
不明	2	8	0.5	1.6					2	9	0.4	1.5	
歩行者の違反	1	1	0.2	0.2					1	1	0.2	0.2	
合計	416	492	100.0	100.0	8	2	100.0	100.0	491	584	100.0	100.0	
酒気帯び(内)	0.25未満	1	1	0.2	0.2					1	2	0.2	0.3
	0.25以上	4	4	1.0	0.8					5	4	1.0	0.7
無免許(内)		3		0.6						3		0.5	

* 「うっかり、ぼんやり型」の安全運転義務違反による事故が全体の約65.3%で最も多く、次いで信号無視、一時不停止、交差点安全通行による事故が多い。

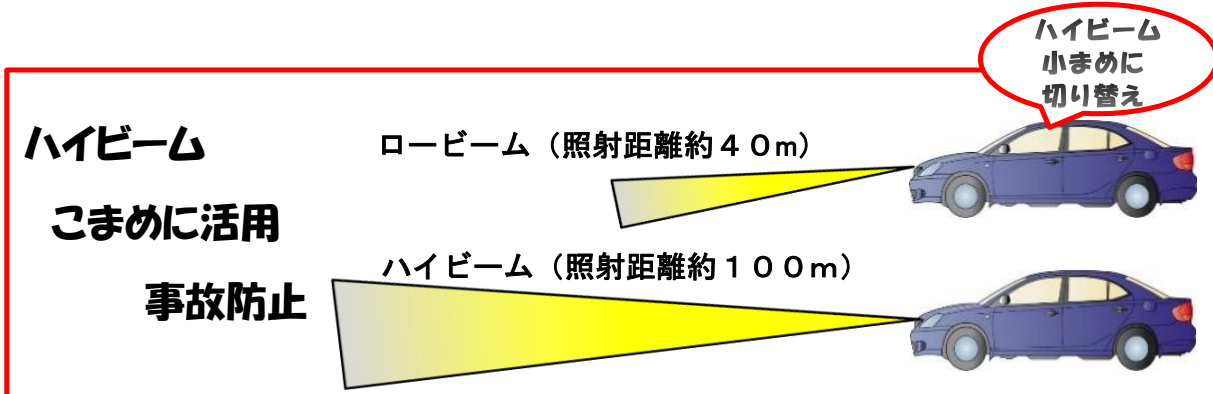


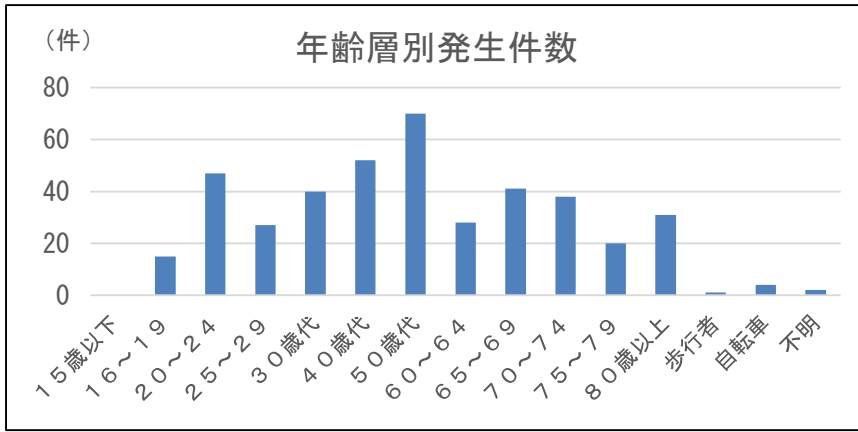
(3) 年齢層別

内閣府特命担当大臣賞(優秀作)

区分 状態年齢	発生件数		構成比(%)		死者数		構成比(%)		負傷者数		構成比(%)	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
15歳以下												
16~19	15	9	3.6	1.8					17	10	3.5	1.7
20~24	47	44	11.3	8.9					55	56	11.2	9.6
25~29	27	28	6.5	5.7	1		12.5		35	35	7.1	6.0
30歳代	40	52	9.6	10.6					48	58	9.8	9.9
40歳代	52	86	12.5	17.5	3		37.5		62	99	12.6	17.0
50歳代	70	75	16.8	15.2	1	1	12.5	50.0	79	84	16.1	14.4
60~64	28	33	6.7	6.7					30	37	6.1	6.3
65~69	41	44	9.9	8.9	1		12.5		51	52	10.4	8.9
70~74	38	44	9.1	8.9	1		12.5		44	58	9.0	9.9
75~79	20	31	4.8	6.3					24	38	4.9	6.5
80歳以上	31	31	7.5	6.3	1	1	12.5	50.0	39	41	7.9	7.0
小計	409	477	98.3	96.8	8	2	100.0	100.0	484	568	98.6	97.2
その他												
歩行者	1	1	0.2	0.2					1	1	0.2	0.2
自転車	4	6	1.0	1.2					4	6	0.8	1.0
不明	2	8	0.5	1.6					2	9	0.4	1.5
合計	416	492	100.0	100.0	8	2	100.0	100.0	491	584	100.0	100.0

※ 発生件数は減少してありますが、65歳以上の高齢者による発生率が年々増加しています。



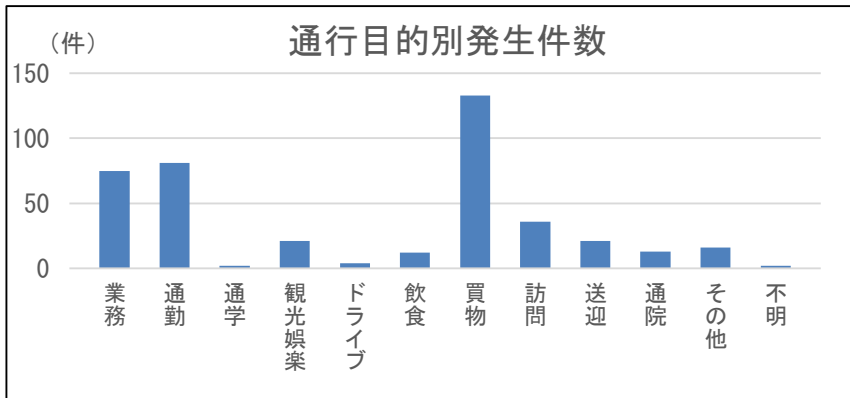


**あぶないよ
イヤホンスマホで
うわの空**



(4) 通行目的別

目的	業務	通勤	通学	観光娯楽	ドライブ	飲食	買物	訪問	送迎	通院	その他	不明	合計
発生件数	75	81	2	21	4	12	133	36	21	13	16	2	416
死者数	1	1		1			1	1	1		2		8
負傷者数	87	92	2	26	4	13	165	41	27	14	18	2	491



**あぶないよ
青でもきちんと
みぎひだい**

(5) 事故車種の免許経過年数別

文部科学大臣賞 (優秀作)

区分経 過年等	発生件数		構成比(%)		死者数		負傷者数		
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	
有効免許あり	1年未満	17	11	4.1	2.2			20	15
	1年以上2年未満	15	16	3.6	3.3			19	19
	2年以上3年未満	10	12	2.4	2.4			14	13
	3年以上4年未満	9	7	2.2	1.4			9	9
	4年以上5年未満	14	8	3.4	1.6			16	11
	5年以上10年未満	26	41	6.3	8.3	1		28	52
	10年以上	317	380	76.2	77.2	7	2	377	447
小計	408	475	98.2	96.4	8	2	483	566	
無免許等	1	2	0.2	0.4			1	2	
調査不能									
ドライバー以外	歩行者	1	1	0.2	0.2			1	1
	自転車	4	6	1.0	1.2			4	6
	その他	2	8	0.5	1.6			2	9
合計	416	492	100.0	100.0	8	2	491	584	

* 10年以上の運転経験者による事故が76%を占めている。

7 歩行者被害の交通事故発生状況

(1) 年代別被害状況

(人)

区分 年代別	死者数		負傷者数		計		構成比 (%)	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
20歳未満			5	2	5	2	12.2	4.2
うち幼児								
うち小学生			1	2	1	2	2.4	4.2
うち中学生			1		1		2.4	
うち高校生			2		2		4.9	
20歳代			4	9	4	9	9.8	18.8
30歳代			3	2	3	2	7.3	4.2
40歳代			2	10	2	10	4.9	20.8
50歳代			5	5	5	5	12.2	10.4
60～64歳			2	3	2	3	4.9	6.3
65～69歳			3	8	3	8	7.3	16.7
70～74歳			3	3	3	3	7.3	6.3
75～79歳			1		1		4.9	
80歳以上	2	1	10	5	12	6	29.3	12.5
小計	3	1	17	16	20	17	48.8	35.5
合計	3	1	38	47	41	48	100.0	100.0



反射材
光って目立って
金メダル
内閣府特命担当大臣賞
(優秀作)

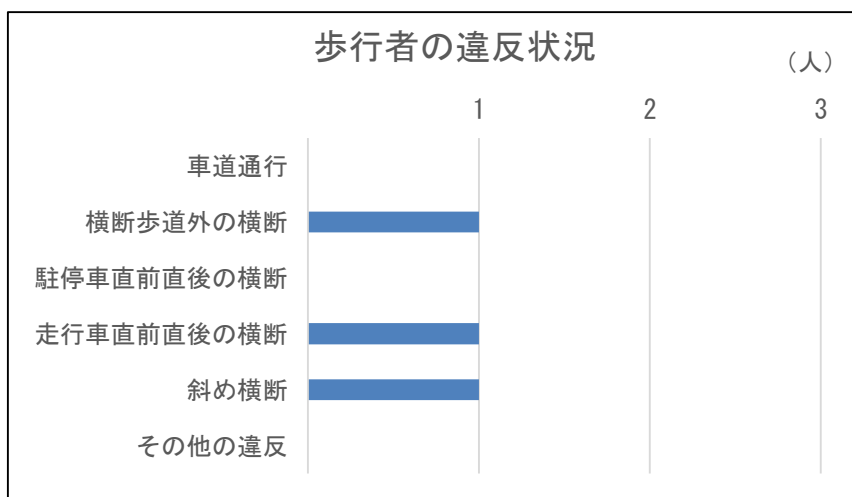
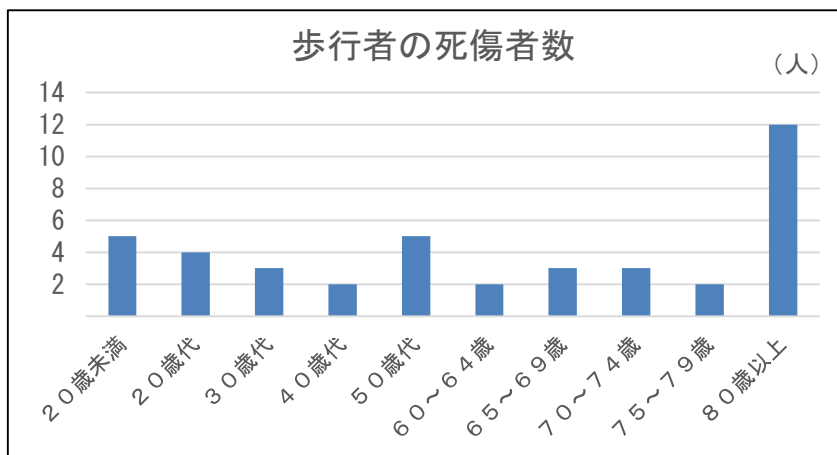
- * 20歳未満の負傷者が4倍以上に増加しました。
- * 高齢者が占める死傷者の割合が44.5%となり、前年より約1割増加しました。
(H30年29.1% R元年33.3% R2年29.9% R3年35.5% **R4年44.5%**)

(2) 違反別被害状況

(人)

区分 違反別	中学生以下		高齢者		その他		計		構成率 (%)	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
信号無視					1	1	1	1	2.4	2.1
左側通行										
車道通行						1		1		2.1
行列等の通行違反										
横断歩道外横断			1	3			1	3	2.4	6.3
斜め横断			1				1		2.4	
駐停車直前直後の横断										
走行車直前直後の横断			1				1		2.4	
横断禁止区間横断										
幼児の一人歩き										
酩酊徘徊ねそべり					1		1		2.4	
路上遊戯										
路上作業										
飛び出し		2						2		4.2
その他の違反										
違反なし	2		17	14	17	27	36	41	87.8	85.4
合計	2	2	20	17	19	29	41	48	100.0	100.0

- * 87.5%の方は違反が無いのに被害を受けています。
- * 「中学生以下」は未就学・幼稚園・小中学生, 「高齢者」は65歳以上です。



8 自転車乗用中被害の交通事故発生状況

(1) 年代別被害状況

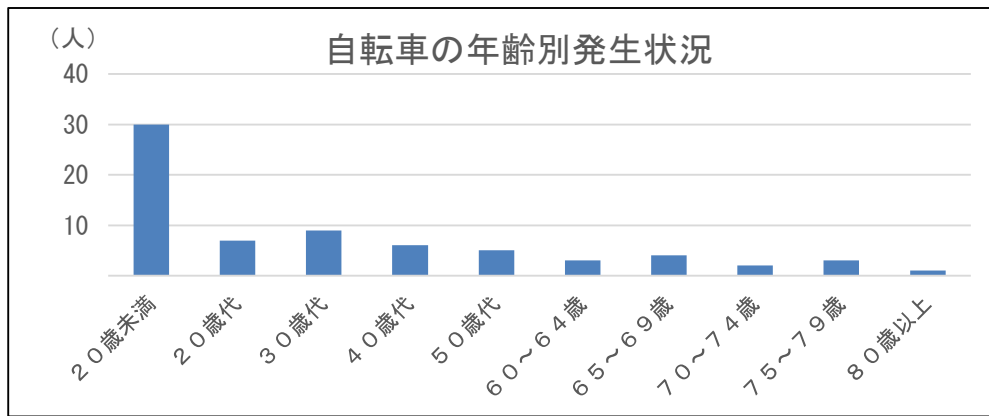
区分 年代別	死者数		負傷者数		計		構成率 (%)		
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	
20歳未満			30	39	30	39	42.9	52.7	
うち幼児				2		2		2.7	
うち小学生			1	10	1	10	1.4	13.5	
うち中学生			4	3	4	3	5.7	4.1	
うち高校生			21	19	21	19	30.0	25.7	
20歳代			7	5	7	5	10.0	6.8	
30歳代			9	5	9	5	12.9	6.8	
40歳代			6	3	6	3	8.6	4.1	
50歳代			5	6	5	6	7.1	8.1	
60~64歳			3	1	3	1	4.3	1.4	
高齢者	65~69歳		4	5	4	5	5.7	6.8	
	70~74歳			2	5	2	5	2.9	6.8
	75~79歳			3	3	3	3	4.3	4.1
	80歳以上			1	2	1	2	1.4	2.7
小計	0	0	10	15	10	15	14.3	20.4	
合計	0	0	70	74	70	74	100.0	100.0	



**ヘルメット
かぶるだけでも
救える命**

* 負傷者の42.9%は20歳未満であり、うち高校生が70%を占めている。

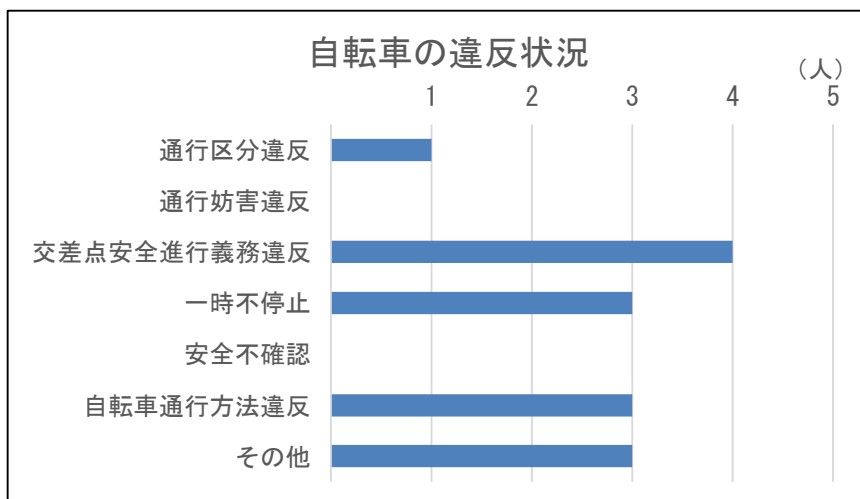
* 高齢者被害自転車事故は前年比5人減少しました。



(2) 違反別被害状況

区分 違反別	中学生以下		高齢者		その他		計		構成比 (%)	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
信号無視		1		1				2		2.7
通行禁止違反										
通行区分違反			1			2	1	2	1.4	2.7
車両・通行帯違反										
横断・転回等違反										
通行妨害違反										
右折方法違反										
左折方法違反										
交差点安全進行義務違反		1		2	4	2	4	5	5.7	6.8
一時不停止		1	1		2	1	3	2	4.3	2.7
灯火違反										
安全不確認						1		1		1.4
乗車不適當										
自転車通行方法違反					3		3		4.3	
その他		2	1	2	2	2	3	6	4.3	8.1
違反なし	5	10	7	10	44	36	56	56	80.0	75.7
合計	5	15	10	15	55	44	70	74	100.0	100.0

* 「違反なし」が71.4%を占め、「違反あり」では交差点安全進行義務違反、一時不停止、自転車通行方法違反が多い。



**あっ あぶない
スマホに危険は
うつらない**

9 旭川市の交通死亡事故発生状況

(1) 月別発生件数

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和4年	1				3		1	1			1	1	8
令和3年		1								1			2
増減	1	-1	0	0	3	0	1	1	0	-1	1	1	6

(2) 年代別死者数 (人)

年代	幼児	小学	中学	高校	15以下	16-19	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	計
令和4年									2		1	5	8
令和3年												2	2
増減	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	6

(3) 路線別発生件数

路線	国道12号	国道39号	国道40号	国道237号	他の国道	道道	市道	その他	計
令和4年			2			3	1	2	8
令和3年		1					1		2
増減	0	-1	2	0	0	3	0	2	6

(4) 類型別発生件数

年別	歩行者 対車両	自転車 対車両	車両相互					車両単独	計
			正面衝突	追突	出会頭	その他	小計		
令和4年	3		2				2	3	8
令和3年	1							1	2
増減	2	0	2	0	0	0	2	2	6

(5) 道路形状別発生件数

形状	交差点	交差点付近	単路	トンネル	カーブ屈折	その他	計
令和4年	1	2	2		1	2	8
令和3年						2	2
増減	1	2	2	0	1	0	6

(6) 曜日別発生件数

曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
令和4年	2	2		1	1	1	1	8
令和3年			1	1				2
増減	2	2	-1	0	1	1	1	6

手を上げて 運転手さんに
ごあいさつ



警察庁長官賞(優秀作)

(7) 時間帯別発生件数

時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
令和4年					1	3		1	3				8
令和3年						1		1					2
増減	0	0	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0	6

(8) 違反別死者数

違反	死者数	
	R4年	R3年
酒酔い		
追越し		
通行区分	1	
歩行者妨害		1
最高速度	1	
過労運転		
信号無視	1	
一時不停止		
車間距離		
踏切		
交差点安全通行		
交差点徐行		
右折		
左折		
整備不良		
安全運転義務違反		
前方不注意	3	
動静不注視		
前左右不確認		
ハンドル操作	1	
ブレーキ操作		
安全速度		
後方不確認	1	
その他		
小計	5	0
その他の違反		1
不明		
自転車の通行方法		
歩行者の違反		
合計	8	2

(9) 市民委員会別死者数

旭川中央警察署管内

地区名	死者数	
	R4年	R3年
西		
中央	1	
大成		
近文東		
近文西		
川端		
旭星		
旭星西		
北星		
春光西		
春光中央		
春光東		
春光台		
鷹の巣福祉村		
末広中央		
末広	1	1
末広東		
東鷹栖中央		
東鷹栖東	1	
東鷹栖西		
江丹別		
嵐山		
神居中央	1	
神居東		
台場		
神居雨紛		
西神居		
忠和		
地区外		
合計	4	1

旭川東警察署管内

地区名	死者数	
	R4年	R3年
新旭川		
朝日		1
啓明		
旭神		
東光	1	
東光南		
豊岡	1	
愛宕		
東豊中央		
新豊岡		
東部東光		
千代田		
旭正		
東旭川中央	1	
日の出・倉沼		
豊田		
桜岡		
米原瑞穂		
神楽本町		
神楽宮前		
高野		
神楽岡		
神楽岡東		
緑が丘		
西御料地		
緑が丘東		
西神楽瑞穂		
西神楽中央		
西神楽聖和		
西神楽千代ヶ岡		
永山第一		
永山第二	1	
永山第三		
永山南		
永山南西		
合計	4	1

2 署合計年別死者数

年別 死者	死者数	
	R4年	R3年
合計	8	2

(10) 令和4年中交通死亡事故発生状況 (8件8人)

※新聞報道、発生地警察署からの情報提供による

番号	日時	場所	路線	事故態様	死亡者
1	1月12日(水) 11:15ころ	旭川市東山 (国道40号 比布トンネル内) 東鷹栖東地区 市民委員会	国道	正面衝突 (軽トラック×トラック) 当事者 A士別市(男性45歳) B名寄市(男性23歳)	男性A (45歳)
	12日午前11時15分ころ、旭川市東山の国道40号線比布トンネル内で当事者Aさん(45)の軽トラックと、当事者Bさん(23)のトラックが正面衝突し、Aさんは搬送先の病院で死亡が確認された。Bさんは軽傷。Aさんの後ろを走っていた別の軽トラックもいずれかの車両に衝突し、運転していた男性(69)が軽傷を負った。 旭川中央警察署によると現場は片側1車線でトンネル内にはカーブもあった。事故当時、路面は凍結していた。				
2	5月9日(月) 11:35ころ	宮下通10丁目 (コンビニエンス ストア駐車場) 中央地区 市民委員会	その 他の 道路	人対車両 (車両後退中歩行者と衝突) 当事者 A旭川市(男性41歳) B旭川市(女性90歳)	女性B (90歳)
	9日午前11時35分ころ、旭川市宮下通10丁目のコンビニエンスストアの駐車場で、当事者Bさん(90)が、乗用車にひかれ、搬送先の病院で死亡した。旭川中央警察署は自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、乗用車を運転していた当事者Aさん(41)を現行犯逮捕した。同署によると、当事者Aは「後方の確認が不十分だった」と供述しているという。同署は当事者Aがバックした際、当事者Bさんをひいたとみて調べている。				
3	5月14日(土) 18:10ころ	南1条通26丁目付近 (飲食店壁に衝突) 東光地区 市民委員会	道路 隣接 空地	車両単独 (車両が飲食店壁に衝突) 当事者 A旭川市(男性70歳)	男性A (70歳)
	旭川市南1条通26丁目の市道付近で14日当事者Aさん(70)の軽乗用車が飲食店の壁に衝突し、当事者が死亡しているのが見つかった。司法解剖の結果旭川東警察署が衝突の衝撃で心臓に損傷を負ったことによる交通事故と判断したことが17日分かった。旭川東警察署によると、14日午後6時10分ころ、軽乗用車が壁に衝突しているのを店の経営者が見つけ、消防を通じて110番通報した。当事者は病院で死亡が確認された。				
4	5月23日(月) 8:45ころ	永山町15丁目 (道道 北旭川 停車場永山線) 永山第二地区 市民委員会	道道	正面衝突 (軽乗用×大型トレーラー) 当事者 A旭川市(男性67歳) B美瑛町(男性47歳)	男性A (67歳)
	23日午前8時45分ころ、当事者Aさん(67)の軽乗用車と当事者Bさん(47)の大型トレーラーが正面衝突した。当事者Aさんは間もなく死亡した。当事者Bさんにけがはなかった。旭川東警察署によると、現場は片側1車線の直線道路で、同署は現場の状況から軽乗用車が対向車線にはみ出したとみて調べている。				
5	7月17日(日) 17:40ころ	豊岡12条2丁目 (道道 愛別当麻 旭川線) 豊岡地区市民委員会	主要 道道	車両単独 (路外逸脱電柱などに衝突) 当事者 A旭川市(男性29歳) B美幌町(女性46歳) C(Bの夫)他に 2人乗車	女性B (46歳)
	17日午後5時40分ころ、旭川市豊岡12条2丁目の道道で当事者Aさん(29)の乗用車が路外に逸脱して道路脇の電柱などに衝突し、後部座席に乗っていた当事者Bさん(46)が上半身を強く打って間もなく死亡した。同乗していたBさんの夫も重傷を負った。旭川東警察署によると、当事者ABは親類。当時5人が乗っており、A当事者の他2人は軽傷だった。現場は片側2車線の直線道路。事故当時、雨で路面がぬれていた。				

番号	日時	場所	路線	事故態様	死亡者
6	8月25日(木) 10:40ころ	神居2条1丁目1番 (道道旭川環状線) 神居中央地区 市民委員会	主要 道道	車両単独 (歩道上バス停電柱に衝突) 当事者 A旭川市(男性85歳)	男性A (85)
	25日午前10時40分ころ、旭川市神居2条1丁目の道道で当事者Aさん(85)の乗用車が歩道に乗り上げ、バス停や電柱などに衝突し横転した。当事者は車外に投げ出され、搬送先の病院で間もなく死亡した。近くに通行人はおらず、他にけが人はいなかった。旭川中央署などによると、現場は片側2車線の直線道路。乗用車は対向車線側の歩道上を数十メートル走ったとみられ、事故原因を調べている。				
7	11月20日(日) 15:20ころ	末広1条9丁目 (国道40号線) 末広地区市民委員会	国道	人対車両 (横断歩道横断中車両が衝突) 当事者 A旭川市(男性52歳) B旭川市(女性79歳)	女性B (79)
	20日午後3時20分ころ、旭川市末広1条9丁目の国道で、横断歩道を渡っていた当事者Bさん(79)が当事者Aさん(52)の軽乗用車にはねられて頭を強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。旭川中央署が事故原因を調べている。				
8	12月9日(金) 16:40ころ	東旭川町上兵村 (市道上四号線) 東旭川中央地区 市民委員会	市道	人対車両 (道路横断中車両が衝突) 当事者 A大阪府(男性49歳) B旭川市(女性88歳)	女性B (88)
	9日午後4時40分ころ、旭川市東旭川町上兵村の市道で、当事者Bさん(88)が道路を横断中に乗用車にはねられ、間もなく死亡して。旭川東署は自動車運転処罰法違反(過失致傷)の疑いで乗用車を運転していた当事者Aさん(49)を現行犯逮捕した。旭川東署によると、路面は圧雪アイスバーンだった。				

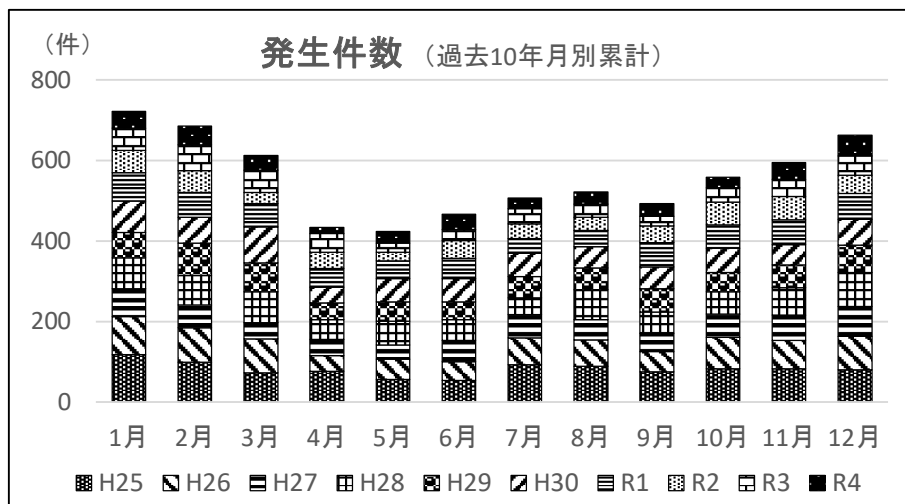
Ⅲ 過去10年間の状況

※旭川市交通防犯課保管交通事故統計資料による

1 月別交通事故発生状況

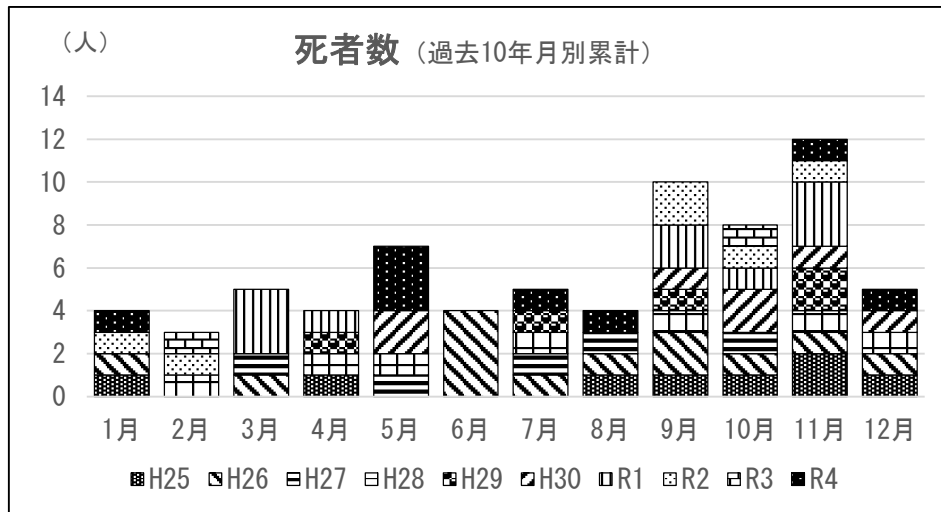
(1) 発生件数

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1月	118	94	69	77	63	78	70	56	55	42
2月	99	85	57	73	81	64	62	54	64	46
3月	73	84	40	77	71	90	58	27	56	36
4月	76	39	41	49	41	39	47	40	47	15
5月	56	51	35	59	47	59	44	21	22	30
6月	54	46	53	52	44	57	51	44	28	37
7月	92	67	58	42	52	58	37	37	37	27
8月	89	65	51	74	54	53	40	33	32	31
9月	75	50	46	52	58	55	60	41	24	32
10月	82	79	58	55	48	60	58	56	36	26
11月	83	70	63	68	56	51	62	57	43	42
12月	80	83	74	85	68	64	64	45	48	52
計	977	813	645	763	683	728	653	511	492	416



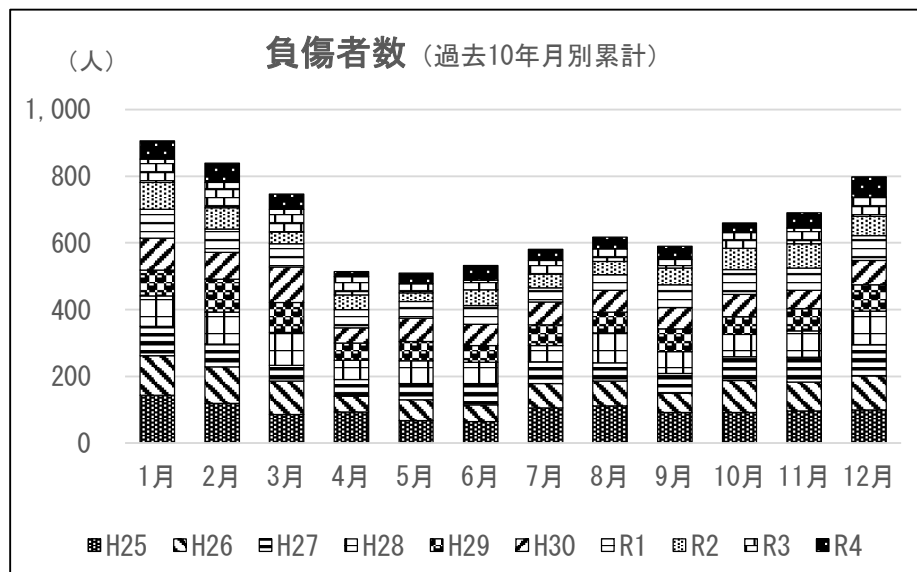
(2) 死者数

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1月	1	1						1		1
2月				1				1	1	
3月		1	1				3			
4月	1			1	1		1			
5月			1	1		2				3
6月		4								
7月		1	1	1	1					1
8月	1	1	1							1
9月	1	2		1	1	1	2	2		
10月	1	1	1			2	1	1	1	
11月	2	1		1	2	1	3	1		1
12月	1	1		1		1				1
計	8	13	5	7	5	7	10	6	2	8



(3) 負傷者数

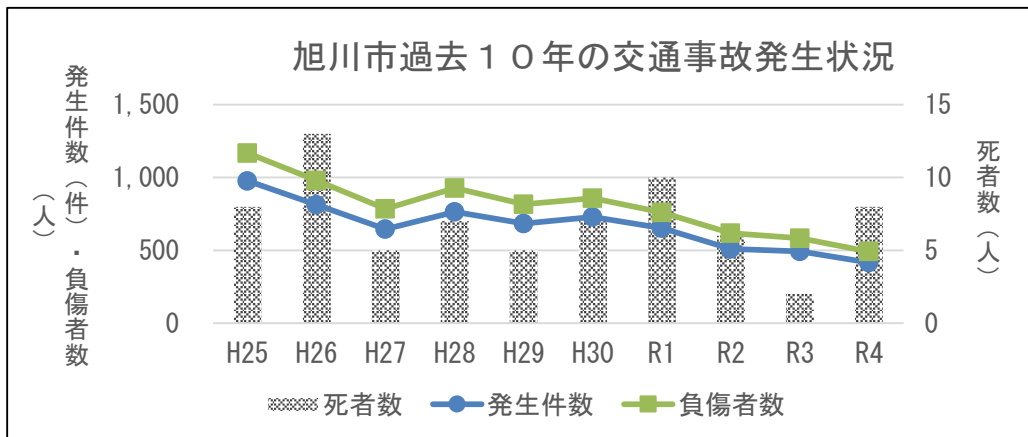
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1月	144	118	88	91	78	96	86	81	70	54
2月	119	109	69	96	98	81	70	64	75	58
3月	86	100	47	98	91	106	70	35	68	46
4月	93	48	50	57	52	46	54	44	55	15
5月	68	62	48	68	59	70	50	26	26	33
6月	64	50	64	64	50	64	56	47	29	44
7月	105	73	66	49	61	69	43	40	42	33
8月	111	75	54	90	62	66	47	39	38	35
9月	91	58	59	66	68	64	69	49	27	39
10月	91	97	71	67	53	67	74	64	47	29
11月	96	87	74	80	66	55	67	72	48	45
12月	99	102	94	101	79	72	75	57	59	60
計	1,167	979	784	927	817	856	761	618	584	491



2 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況

区分 年	発生件数			死者数			負傷者数		
	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国
H25	977	13,722	629,033	8	184	4,388	1,167	16,247	781,492
H26	813	12,274	573,842	13	169	4,113	979	14,571	711,374
H27	645	11,123	536,899	5	177	4,117	784	13,117	666,023
H28	763	11,329	499,201	7	158	3,904	927	13,489	618,853
H29	683	10,815	472,165	5	148	3,694	817	12,673	580,850
H30	728	9,931	430,597	7	141	3,532	856	11,494	525,837
R1	653	9,595	381,237	10	152	3,215	761	11,046	461,775
R2	511	7,898	309,178	6	144	2,839	618	9,043	369,476
R3	492	8,304	305,196	2	120	2,636	584	9,598	362,131
R4	416	8,457	301,193	8	115	2,610	491	9,785	356,419

注) 全国の数値は速報値であり、変更になる場合があります



3 都道府県別交通事故死者数のワースト順位

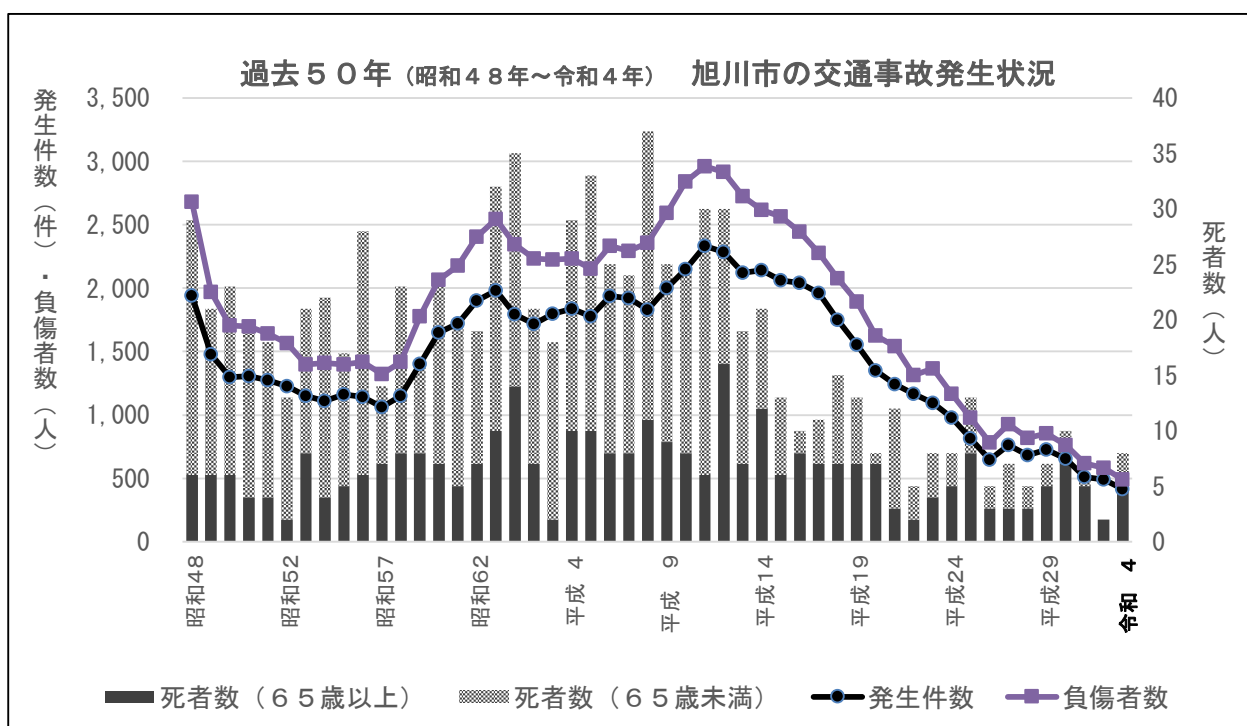
※順位欄上から3段目の数値は前年比

順位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1	愛知 219 -16	愛知 204 -15	愛知 213 9	愛知 212 -1	愛知 200 -12	愛知 189 -11	千葉 172 -14	東京 155 22	神奈川 142 2	大阪 141 1
2	千葉 201 -1	神奈川 185 -17	大阪 196 53	千葉 185 5	埼玉 177 26	千葉 186 32	愛知 156 -33	愛知 156 -2	大阪 140 16	愛知 137 20
3	兵庫 187 8	千葉 182 -19	千葉 180 -2	大阪 161 -35	東京 164 5	埼玉 175 -2	北海道 152 11	北海道 144 -8	東京 133 -22	東京 132 -1
4	静岡 184 29	兵庫 182 -5	神奈川 178 -7	東京 159 -2	兵庫 161 9	神奈川 162 13	兵庫 138 -14	神奈川 140 8	千葉 121 -7	千葉 124 3
5	北海道 184 -16	埼玉 173 -7	北海道 177 8	北海道 158 -19	千葉 154 -31	兵庫 152 -9	東京 133 -10	千葉 128 -44	北海道 120 -24	兵庫 120 6
6	北海道 169	北海道 148	北海道 141	北海道 115						

IV 過去50年の交通事故発生件数・死傷者数一覧

年	発生件数	死者数		負傷者数	年	発生件数	死者数		負傷者数
		うち65歳以上					うち65歳以上		
昭和48	1,940	29	6	2,680	平成10	2,000	25	9	2,593
昭和49	1,476	21	6	1,969	平成11	2,150	25	8	2,841
昭和50	1,296	23	6	1,707	平成12	2,333	30	6	2,961
昭和51	1,306	20	4	1,698	平成13	2,284	30	16	2,915
昭和52	1,272	18	4	1,643	平成14	2,123	19	7	2,726
昭和53	1,225	13	2	1,565	平成15	2,141	21	12	2,616
昭和54	1,150	21	8	1,396	平成16	2,060	13	6	2,564
昭和55	1,109	22	4	1,409	平成17	2,043	10	8	2,445
昭和56	1,161	17	5	1,398	平成18	1,962	11	7	2,279
昭和57	1,140	28	6	1,416	平成19	1,749	15	7	2,078
昭和58	1,061	14	7	1,323	平成20	1,554	13	7	1,895
昭和59	1,151	23	8	1,419	平成21	1,350	8	7	1,626
昭和60	1,400	16	8	1,777	平成22	1,242	12	3	1,542
昭和61	1,651	24	7	2,067	平成23	1,164	5	2	1,314
昭和62	1,720	20	5	2,176	平成24	1,092	8	4	1,366
昭和63	1,900	19	7	2,404	平成25	977	8	5	1,167
平成元	1,983	32	10	2,545	平成26	813	13	8	979
平成2	1,795	35	14	2,344	平成27	645	5	3	784
平成3	1,719	21	7	2,235	平成28	763	7	3	927
平成4	1,798	18	2	2,224	平成29	683	5	3	817
平成5	1,839	29	10	2,234	平成30	728	7	5	856
平成6	1,779	33	10	2,154	令和元	653	10	7	761
平成7	1,936	25	8	2,332	令和2	511	6	5	618
平成8	1,920	24	8	2,294	令和3	492	2	2	584
平成9	1,829	37	11	2,356	令和4	416	8	6	491

※平成14年以降は高速道路における事故の数値を含む



V 市民委員会別死亡事故ゼロ日数

令和4年12月31日現在

市民委員会名	ゼロ日数	備考	市民委員会名	ゼロ日数	備考
西	1,539		東光	231	5月14日発生
中央	236	5月9日発生	東光南	3,423	
大成	1,382		豊岡	167	7月17日発生
近文東	4,088	4000日達成	新豊岡	767	
近文西	5,590		愛宕	1,556	
川端	9,333	9000日達成	東豊中央	1,929	
北星	4,572		東部東光	3,843	
旭星	2,946		千代田	792	
旭星西	11,415		旭正	3,029	3000日達成
春光西	5,498		東旭川中央	21	12月9日発生
春光中央	6,810		日の出・倉沼	2,091	
春光東	3,376		豊田	8,575	
春光台	9,443		桜岡	6,617	
鷹の巣福祉村	3,205	3000日達成	米原瑞穂	16,665	
末広中央	3,120	3000日達成	神楽本町	2,955	
末広	40	11月20日発生	神楽宮前	8,334	8000日達成
末広東	4,332	4000日達成	高野	7,503	
東鷹栖中央	827		神楽岡	2,505	
東鷹栖東	353	1月12日発生	神楽岡東	6,897	
東鷹栖西	15,726		緑が丘	8,519	
江丹別	1,207		西御料地	1,676	
嵐山	3,642		緑が丘東	1,197	
神居中央	128	8月25日発生	西神楽瑞穂	7,338	7000日達成
神居東	4,509		西神楽中央	1,881	
台場	1,182		西神楽聖和	2,241	
神居雨紛	7,803		西神楽千代ヶ岡	4,444	
西神居	5,099	5000日達成	永山第一	3,739	
忠和	1,696		永山第二	222	5月23日発生
新旭川	1,549		永山第三	5,518	
朝日	452		永山南	6,792	
啓明	2,797		永山南西	3,313	3000日達成
旭神	2,003				

※備考欄 令和4年中のゼロ日数3,000日以上の記録と死亡事故発生日。



歩きスマホ 危険といっしょに歩いている

旭川市の死亡事故ゼロ最長記録

230日間

令和2年2月8日～令和2年9月24日まで
令和3年2月18日～令和3年10月4日まで

230日間2回

【統計用語 一口メモ】

交通事故とは	<p>道路交通法に規定する道路において車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいいます。ただし、物損事故について計上しているのは、昭和40年以前の統計のみです。</p> <p>したがって、この統計書では、物の損壊のみで人の死傷をともなわない事故については含まれていません。通常の交通事故統計は、この統計書のように、交通による人の死亡又は負傷を伴う事故のみを扱っているものがほとんどです。</p>
死者・傷者とは	<p>道路交通法で規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で死傷した人をいいます。普通は「死者」「重傷者」「軽傷者」に区別されます。この統計書では、例外的に表示する以外は「死者」と、重傷者と軽傷者を合わせた「負傷者」と表示しています。</p> <p>「死者」とは、交通事故が発生してから24時間以内に亡くなった場合（人）をいいます。「30日以内の死者」を計上している統計書もありますが、この統計書では24時間以内に亡くなった人のみを表示しています。</p> <p>※道路～一般交通の用に供するその他の場所《管理者によって閉鎖されていなければ、公園、学校内の通路、神社仏閣の境内、空き地や海辺も含む》</p>
第一当事者とは	<p>交通事故統計では、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいいます。</p> <p>車両の単独事故では、運転者が第一当事者になります。また、明らかに歩行者に重大な過失がある場合には、歩行者でも第一当事者となります。</p>
軽車両とは (自転車も車の仲間です)	<p>車両等(列車を含む)の運転者が当事者であるときは、運転中の車両等をもって当事者とし、その種別は、「乗用車」「貨物車」「二輪車」「歩行者」などの11に区分されています。その1つが「軽車両」です。</p> <p>この「軽車両」も、①自転車 ②駆動補助機付自転車 ③その他（リヤカー、荷車、牛馬車、人又は動物の力により運転する車で①②以外のものをいう、押して歩いている耕運機等も含む）の3種に区分されています。</p>
歩行者	<p>次に掲げる者も「歩行者」とみなされます。身体障害者用の車いす、歩行補助車、小児用三輪車模型自動車、乳母車に乗っている者押している者、自動二輪車、二輪の原付、二輪又は三輪の自転車を押して歩いている者も歩行者とみなします。</p>

【令和5年 期別運動】

年間スローガン **ストップ・ザ・交通事故** ～めざせ 安全で安心な旭川(北海道)～

運動名	実施期間	期別運動の方針	セーフティコール
春の全国交通安全運動	5/11(木) ～5/20(土)	○外出の機会が増える子供や活動期に入る自転車利用者の事故防止	5/11 (木)
夏の交通安全運動	7/13(木) ～7/22(土)	○観光・夏型レジャー・バイクによる事故防止及び飲酒運転根絶	7/13 (木)
秋の全国交通安全運動	9/21(木) ～9/30(土)	○夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止	9/21 (木)
冬の交通安全運動	11/13(月) ～11/22(水)	○凍結路面でのスリップ事故防止	11/13 (月)



飲酒運転根絶

令和4年旭川市交通事故統計

交通安全は家庭から

令和5年3月発行

旭川市交通安全運動推進委員会
会長 今津寛介

☎070-8525

旭川市6条通10丁目 旭川市第三庁舎1階

旭川市防災安全部交通防犯課内

☎(0166)25-6215